

1999年(平成11年)7月2日(金曜日)

(10)

社会の中での「学協会」の位置付け

学協会が社会に 果たす役割

▷1



日本工学会会長 大橋 秀雄

公器としての自覚が重要

研究者、医師、弁護士・会計士・技術者など高度な専門職業人として、学協会は身近な存在である。新しい専門知識の吸収や研究発表の場には不可欠な組織で、自分の専門に近い幾つかの学協会に所属しているのが普通である。しかしそのような必要性がない人ならば、学協会はずいぶん無縁の存在であり、その役割も実感は多くないであろう。学会という言葉を団体を選好するのが大方の反応であろう。

統計によれば、我が国の研究者は大半、国立研究機関、民間を含む約六十万人。それに研究者には属さないが二百五十万人技術者のうち五十万人は何かかの学協会に属していることを考えれば、我が国の学協会会員数は百五十万人前後と推定される。国民平均で言えば、学協会に所属している人は八十人に一人の割合となり、それが果たしている役割は社会がかなり見逃さず。

研究成果を挙げても、その成果の評価と公表を、第三者すなわち学協会に委ねている。研究成果が学術の進歩のために相

当の貢献を果たしているかどうかの公正な判定は、専門家集団としての学協会の相互評価(peer review)機能に拠るのが学問の長い伝統となっている。学術は、知識の創造基地としての大学や研究機関と、その発信基地としての学協会が、継承と橋渡しのついでに助け合っている健全な関係を築いていく必要がある。

たしている社会の公器としての役割を正當に認知していると思える。

一九九五年に制定された科学技術基本法は、科学技術の振興に関する施策の基本を定めたもので、研究開発の強化、研究環境の整備、国際交流の促進などを、財政の裏付けのもとに計画的に推進することを規定している。科学技術推進法もまた同様の規定を盛り込んでおり、またこの間の科学的な法律の進歩に不可欠な機能を担っていることも明らかである。

このように歴史的経緯にも関わらず、科学技術の進歩とその社会的影響力の増大に対して、学協会が果たす役割が意識されつつある。たとえば、一九九五年一月に起こった阪神淡路大震災に際して、土木学会、日本建築学会などの多くの学協会が、それぞれ専門の立場から全国の専門家を動員してタイムリーな調査・分析を行い、学術的記録を残すことに努めた。行政にも反映した。これは標準の見直し、改善提案などを独自で行っている。これによって、国家機関、企業などの調査とは異なり、完全に中立な専門家集団としての特色が十分に発揮されており、国民生活にも密接に関連する貴重な貢献である。学協会が果たしている社会的役割が、普及は国民の目に触れることが少ないが、災害などの時期に必要を通じ、その役割が果たされた例は少なくない。

研究成果を挙げても、その成果の評価と公表を、第三者すなわち学協会に委ねている。研究成果が学術の進歩のために相

当の貢献を果たしているかどうかの公正な判定は、専門家集団としての学協会の相互評価(peer review)機能に拠るのが学問の長い伝統となっている。学術は、知識の創造基地としての大学や研究機関と、その発信基地としての学協会が、継承と橋渡しのついでに助け合っている健全な関係を築いていく必要がある。

たしている社会の公器としての役割を正當に認知していると思える。

一九九五年に制定された科学技術基本法は、科学技術の振興に関する施策の基本を定めたもので、研究開発の強化、研究環境の整備、国際交流の促進などを、財政の裏付けのもとに計画的に推進することを規定している。科学技術推進法もまた同様の規定を盛り込んでおり、またこの間の科学的な法律の進歩に不可欠な機能を担っていることも明らかである。

このように歴史的経緯にも関わらず、科学技術の進歩とその社会的影響力の増大に対して、学協会が果たす役割が意識されつつある。たとえば、一九九五年一月に起こった阪神淡路大震災に際して、土木学会、日本建築学会などの多くの学協会が、それぞれ専門の立場から全国の専門家を動員してタイムリーな調査・分析を行い、学術的記録を残すことに努めた。行政にも反映した。これは標準の見直し、改善提案などを独自で行っている。これによって、国家機関、企業などの調査とは異なり、完全に中立な専門家集団としての特色が十分に発揮されており、国民生活にも密接に関連する貴重な貢献である。学協会が果たしている社会的役割が、普及は国民の目に触れることが少ないが、災害などの時期に必要を通じ、その役割が果たされた例は少なくない。

研究成果を挙げても、その成果の評価と公表を、第三者すなわち学協会に委ねている。研究成果が学術の進歩のために相

当の貢献を果たしているかどうかの公正な判定は、専門家集団としての学協会の相互評価(peer review)機能に拠るのが学問の長い伝統となっている。学術は、知識の創造基地としての大学や研究機関と、その発信基地としての学協会が、継承と橋渡しのついでに助け合っている健全な関係を築いていく必要がある。

たしている社会の公器としての役割を正當に認知していると思える。

一九九五年に制定された科学技術基本法は、科学技術の振興に関する施策の基本を定めたもので、研究開発の強化、研究環境の整備、国際交流の促進などを、財政の裏付けのもとに計画的に推進することを規定している。科学技術推進法もまた同様の規定を盛り込んでおり、またこの間の科学的な法律の進歩に不可欠な機能を担っていることも明らかである。

このように歴史的経緯にも関わらず、科学技術の進歩とその社会的影響力の増大に対して、学協会が果たす役割が意識されつつある。たとえば、一九九五年一月に起こった阪神淡路大震災に際して、土木学会、日本建築学会などの多くの学協会が、それぞれ専門の立場から全国の専門家を動員してタイムリーな調査・分析を行い、学術的記録を残すことに努めた。行政にも反映した。これは標準の見直し、改善提案などを独自で行っている。これによって、国家機関、企業などの調査とは異なり、完全に中立な専門家集団としての特色が十分に発揮されており、国民生活にも密接に関連する貴重な貢献である。学協会が果たしている社会的役割が、普及は国民の目に触れることが少ないが、災害などの時期に必要を通じ、その役割が果たされた例は少なくない。

研究成果を挙げても、その成果の評価と公表を、第三者すなわち学協会に委ねている。研究成果が学術の進歩のために相

当の貢献を果たしているかどうかの公正な判定は、専門家集団としての学協会の相互評価(peer review)機能に拠るのが学問の長い伝統となっている。学術は、知識の創造基地としての大学や研究機関と、その発信基地としての学協会が、継承と橋渡しのついでに助け合っている健全な関係を築いていく必要がある。

たしている社会の公器としての役割を正當に認知していると思える。

一九九五年に制定された科学技術基本法は、科学技術の振興に関する施策の基本を定めたもので、研究開発の強化、研究環境の整備、国際交流の促進などを、財政の裏付けのもとに計画的に推進することを規定している。科学技術推進法もまた同様の規定を盛り込んでおり、またこの間の科学的な法律の進歩に不可欠な機能を担っていることも明らかである。

このように歴史的経緯にも関わらず、科学技術の進歩とその社会的影響力の増大に対して、学協会が果たす役割が意識されつつある。たとえば、一九九五年一月に起こった阪神淡路大震災に際して、土木学会、日本建築学会などの多くの学協会が、それぞれ専門の立場から全国の専門家を動員してタイムリーな調査・分析を行い、学術的記録を残すことに努めた。行政にも反映した。これは標準の見直し、改善提案などを独自で行っている。これによって、国家機関、企業などの調査とは異なり、完全に中立な専門家集団としての特色が十分に発揮されており、国民生活にも密接に関連する貴重な貢献である。学協会が果たしている社会的役割が、普及は国民の目に触れることが少ないが、災害などの時期に必要を通じ、その役割が果たされた例は少なくない。